

## 2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月7日

東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所  
 コード番号 7975 URL <https://www.lihit-lab.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	2,544	0.5	△23	—	△5	—	△7	—
2023年2月期第1四半期	2,532	△6.2	82	△68.3	143	△49.4	93	△49.5

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 7百万円(△96.9%) 2023年2月期第1四半期 252百万円(△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	△2.24	—
2023年2月期第1四半期	27.42	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	12,792	10,143	79.3
2023年2月期	12,732	10,220	80.3

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 10,143百万円 2023年2月期 10,220百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	6.4	130	—	160	58.6	120	88.5	35.36
通期	9,000	5.7	250	—	300	—	220	—	64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期1Q	3,815,700株	2023年2月期	3,815,700株
2024年2月期1Q	422,492株	2023年2月期	422,390株
2024年2月期1Q	3,393,265株	2023年2月期1Q	3,393,381株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年5月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染収束に向けた規制緩和の動きを反映して、サービス消費を中心とした個人消費や企業の設備投資といった内需が牽引役となり、緩やかな回復基調が続いております。一方で、インフレ抑制のための金融引締め政策や、米中関係の悪化などの影響による不安定な国際情勢を背景に、エネルギーや原材料価格の高止まりが続き世界経済は減速傾向にあることから、今後の政府による経済対策や日銀の金融政策次第では景気が下押しされる懸念も内包しております。

当業界におきましては、官民一体でのデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により企業のペーパーレス化が更に進むことで法人需要の縮小が続いており、個人需要は生活様式の多様化に伴い、ホビーや嗜好品として求められる傾向が強まっております。また、販売チャネルも国内海外ともにEC市場の成長は続き、通販ルートへのシフトがより進んでいくものと予想され、店頭ルートも専門店からスーパー・コンビニ・ドラッグストアといった業態のシェアが高まりつつあります。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、皆様の暮らしに豊かさをもたらす製品、環境や時代及び多様化する需要にマッチした魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、推し活応援サプライとして文具市場に新たなカテゴリーを提案いたしましたグッズ収納シリーズ「myfa(ミファ)」、少ない冊数の本やCD・DVDなどのケース類の収納物が倒れることなく整理できる「1冊でも倒れないブックスタンド」、プリントとルーズリーフを一緒にとじられる2穴タイプの軽量バインダー「プリントルーズバインダー」を発表し、売上を伸ばしました。一方既存製品では、主力製品の机収納シリーズの「机上台」、ロングセラーの「ルーパーファイル」や「カラークリヤーホルダー」のほか、「リクエストD型リングファイル」、「soeru(ソエル)シリーズ」、OEM製品等が引き続きご好評をいただきました。

この結果、事務用品等事業は新製品の積極的な投入や、量販及び海外向け売上の増加等により前年同期比増収となりました。不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率がほぼ前年通りで推移したものの、僅かながら前年同期比減収となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,544百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

利益面につきましては、増収ではあったものの、想定額に及ばなかったことに加え、原材料の価格高騰や急激な円安進行に伴う輸入コストの上昇等により、23百万円の営業損失(前第1四半期連結累計期間は営業利益82百万円)、経常損失は5百万円(前第1四半期連結累計期間は経常利益143百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7百万円(前第1四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益93百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	804	31.6	1.8
バインダー・クリヤーブック	614	24.2	△1.4
収 納 整 理 用 品	819	32.2	5.0
そ の 他 事 務 用 品	194	7.6	△13.3
事 務 用 品 等 事 業	2,432	95.6	0.6
不 動 産 賃 貸 事 業	112	4.4	△2.1
合 計	2,544	100.0	0.5

## 【事務用品等事業】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

## &lt;ファイル部門&gt;

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は804百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

## &lt;バインダー・クリヤーブック部門&gt;

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は614百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

## &lt;収納整理用品部門&gt;

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は819百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、カルテフォルダー、カルテブック等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は194百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は2,432百万円（前年同期比0.6%増）となり、利益面につきましては、増収ではあったものの想定額に及ばなかったことに加え、原材料の価格高騰や急激な円安進行に伴う輸入コストの上昇等により、61百万円の営業損失（前第1四半期連結累計期間は営業利益41百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業は、テナントの稼働率がほぼ前年通りで推移したものの、一部空室の発生等により前年同期比減収となりました。売上高は112百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業利益は38百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、12,792百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ137百万円増加し、2,648百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。純資産合計は前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、10,143百万円となりました。これは主として剰余金の配当により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。その結果、自己資本比率は79.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高は概ね計画通りに推移し、利益面は生産、物流の効率化、経費等のコスト削減の徹底、価格転嫁等の取組み等の効果により達成可能と見込んでおることから、2023年4月7日発表時より変更いたしておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,077,469	1,405,823
受取手形及び売掛金	1,467,322	1,523,889
電子記録債権	302,122	475,545
商品及び製品	2,049,307	1,673,255
仕掛品	113,390	91,817
原材料及び貯蔵品	677,186	670,094
その他	342,185	286,865
貸倒引当金	△3,687	△3,987
流動資産合計	6,025,297	6,123,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,076,842	2,034,789
機械装置及び運搬具(純額)	114,740	116,162
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	90,742	98,370
有形固定資産合計	5,207,506	5,174,503
無形固定資産	16,379	18,370
投資その他の資産		
投資有価証券	1,096,500	1,083,602
その他	392,762	398,670
貸倒引当金	△6,112	△6,112
投資その他の資産合計	1,483,149	1,476,160
固定資産合計	6,707,035	6,669,034
資産合計	12,732,333	12,792,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	185,843	278,306
短期借入金	130,000	104,000
未払法人税等	13,793	12,539
賞与引当金	137,786	168,814
役員賞与引当金	12,490	22,875
その他	305,540	370,657
流動負債合計	785,454	957,192
固定負債		
長期借入金	315,000	300,000
繰延税金負債	224,775	225,593
役員退職慰労引当金	193,499	199,020
退職給付に係る負債	711,150	695,973
その他	282,034	271,179
固定負債合計	1,726,459	1,691,766
負債合計	2,511,913	2,648,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,521,178	6,428,752
自己株式	△401,259	△401,354
株主資本合計	9,361,780	9,269,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,514	488,325
繰延ヘッジ損益	86,605	106,719
為替換算調整勘定	242,987	247,382
退職給付に係る調整累計額	30,531	31,693
その他の包括利益累計額合計	858,639	874,119
純資産合計	10,220,420	10,143,380
負債純資産合計	12,732,333	12,792,339

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	2,532,149	2,544,486
売上原価	1,774,132	1,869,117
売上総利益	758,017	675,369
販売費及び一般管理費	675,592	698,727
営業利益又は営業損失(△)	82,424	△23,358
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	4,810	8,539
受取保険金	1,811	1,647
為替差益	55,845	8,649
雑収入	2,561	1,815
営業外収益合計	65,036	20,665
営業外費用		
支払利息	1,990	357
支払手数料	1,628	2,115
雑損失	578	540
営業外費用合計	4,197	3,013
経常利益又は経常損失(△)	143,263	△5,706
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	143,263	△5,706
法人税等	50,204	1,887
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,058	△7,593
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	93,058	△7,593

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,058	△7,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,265	△10,189
繰延ヘッジ損益	97,992	20,113
為替換算調整勘定	37,393	4,394
退職給付に係る調整額	1,757	1,161
その他の包括利益合計	159,408	15,480
四半期包括利益	252,467	7,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,467	7,886
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,417,414	4,216	2,421,630	—	2,421,630
その他の収益(注) 3	—	110,518	110,518	—	110,518
外部顧客への売上高	2,417,414	114,735	2,532,149	—	2,532,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	638	638	△638	—
計	2,417,414	115,373	2,532,787	△638	2,532,149
セグメント利益	41,961	40,462	82,424	—	82,424

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,432,214	5,921	2,438,136	—	2,438,136
その他の収益(注) 3	—	106,350	106,350	—	106,350
外部顧客への売上高	2,432,214	112,271	2,544,486	—	2,544,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	700	700	△700	—
計	2,432,214	112,972	2,545,187	△700	2,544,486
セグメント利益又は損失(△)	△61,710	38,352	△23,358	—	△23,358

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。